

平成23年11月1日

向陽高保健だより



千葉県立松戸向陽高等学校

マイコプラズマ肺炎が流行っています

関東でも木枯らし1号が吹き、朝夕急に涼しくなってきました
いつもならインフルエンザが流行る時期ですが、今年はマイコプラズマ肺炎が流行しています。小さい子どもがかかるイメージがありますが、本校でもかかった人がいます。感染を拡大させないためにも、この病気のことををよく知っておくことが大切です。

症状は？……発熱と共にせきが出始め、特に夜に頑固なせきが出るのが特徴です。
普通の風邪と違い、鼻水はあまり出ません。

潜伏期間……他の感染症より長く2～3週間してから症状がでます。

感染経路……飛沫感染（せきやくしゃみでうつります。）

検査・診断……胸部のレントゲン（陰が写ります。）
咽頭ぬぐい液を検査 血液検査・抗体検査

治療……抗生物質が有効です。医師の指示に従い10日ほど服用します。
熱があるときは解熱剤、咳がひどい時は鎮咳剤を必要に応じて使用します。

予防……十分な睡眠をとり免疫力を高めておきます。寝不足・食事抜きだとかかり
やすくなりますよ。 手洗い・マスクも有効です。

高熱が出て、咳が何日も続き、夜になるとひどく
胸が痛い。でも体調はそんなに悪くないし……
そういえばまわりにも咳をしているひとがいたわ……



こんな時は、すぐに病院へいこう！

病院ではレントゲンをとったり、採血して診断します。
「マイコプラズマ肺炎（疑いも）」と言われたら、出された薬を決められた期間
しっかり飲み、治そう。治療しないとまわりの人にも次々に感染します。
10日ほどで症状は改善されてきますが、完治するには1ヶ月程かかります。

学校は出席停止の扱いになります。医師から「感染のおそれがなく通学してよい」
と言われたら、登校するときに病院の「治癒証明書」又は「通学許可証明書」を
提出してくださいね。（学校の治癒証明書の用紙でも可）